

令和5年度通学路における合同点検の実施について

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由(状況・内容等)	学校が希望する対策	点検結果概要	対策内容
1	寺内小学校	秋田臨港警察署	寺内油田の一本松近くの三叉路	交通量が多いにもかかわらず、歩道が狭く、カーブで運転手の死角になる部分もある。	・カーブミラーを増設してほしい。 ・横断歩道の線が薄くなっているのを、引き直してほしい。 ・ダイヤモンドの標示と横断歩道を強調してほしい。	・要望のあったカーブミラーは、当該交差点を旧国道側から左折する際に使用する目的のものであるが、進行方向に視距を阻害する障害物等がなく、左折時に減速して交差点に進入することで見通しは確保できる状況となっている。 ・現地は通学路にはなっているが、道幅が狭いため、学校ではその場所を通らないように指導しており、旧国道側を通して通学させるようにしている。 ・横断歩道の線とダイヤモンドが薄くなっている。	・横断歩道とダイヤモンドの塗り直し検討中(秋田中央警察署) ・交通安全教育(市教育委員会)
2-①	飯島小学校	秋田臨港警察署	上飯島駅～下飯島公民館	交通量が多いにもかかわらず、歩道が極端に狭い	グリーンベルト及びゾーン30指定をしてほしい。		・グリーンベルトを上飯島駅線路手前までと、下飯島公民館まで延長工事実施済み(道路建設課)
2-②	飯島小学校	秋田臨港警察署	伊藤酒店～下飯島公民館	交通量が多いにもかかわらず、歩道が極端に狭い	グリーンベルト及びゾーン30指定をしてほしい。	・ゾーン30指定は事前に秋田臨港警察署と地域の交通安全協会と学校で確認し、指定しないことを確認済み。もともと30km規制になっているエリアであることと、指定した場合にはゾーン30の標示だけでなく、実際に交通量を抑制するため、車を一方通行にしたり、狭くポールを設置したりする対策が必要となる。 ・一番狭い道路は、児童は通らないように学校で指導しており、児童は迂回して学校の裏側から登下校している。それ以外の場所は道路は広く、交通量も少ないので、児童の安全は確保されている。 ・側溝にはグリーンベルトは塗れない道路であることと、児童の安全は確保されていることから、グリーンベルトは行わない。	・交通安全教育(市教育委員会)
3	旭北小学校	秋田中央警察署	山王十字路	県内一の交通量。児童が横断し終わるまで時間がかかる。	登下校の時間帯に交通指導員の配置を希望。	・セブンイレブンから旭北小学校方面に向かう横断歩道は26Mあり、交通量に応じてセンサーが反応し、青色の点灯時間が変わる仕組みになっている。児童は真ん中を過ぎたあたりで青信号が点滅したときは走って渡るが、赤になるギリギリのタイミングで渡りきっている状況である。 ・学校では、春と長期休み明けの1週間は教職員とPTAが山王十字路に立ち、児童の見守り指導をしている。また、交通安全教室を開催し、山王十字路の渡り方について、友だちと話して渡るタイミングが遅れたり、ゆっくり渡ることがないように指導している。 ・警察では、歩行者用信号の青をもう少し延ばすことは、交通量が多い場所であり、渋滞を防ぐためには車と歩行者の信号時間は今の設定が限界である。	・交通安全教育(市教育委員会)
4	泉中学校	秋田中央警察署	泉北二丁目6番1号泉中学校正門前	抜け道として交通量が増加し危険。	正門前に横断歩道の白線を引いてほしい。	・泉中学校正門前は、朝の時間帯は車の交通量はある。 ・横断歩道は100M以上離れないといけないルールがあるが、正門からすぐ近くの50Mくらいの場所に横断歩道があることから、横断歩道を設置することはできない。 ・朝の時間、正門には教職員が立っている。	・交通安全教育(市教育委員会)

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由(状況・内容等)	学校が希望する対策	点検結果概要	対策内容
5	御所野学院中学校	秋田東警察署	御所野学院中側からピノキオ公園にわたる横断歩道	横断歩道が消えかかっている。	横断歩道をはっきりさせてほしい。	・横断歩道が消えかかっていると思われた場所は、横断歩道ではない場所であった。実際、横断歩道の標識も存在しない。 ・警察では、近い場所に他の横断歩道が既があり、新たな横断歩道の設置はできない。もし、この場所に横断歩道を追加してしまうと、横断歩道の連続となり、車の追突の危険性が高まることになってしまう。 ・学校から生徒に対し、この場所は横断歩道ではないことを伝える。	・交通安全教育(市教育委員会)
6	御所野小学校	秋田東警察署	御所野堤台から御所野元町三丁目への地下道を出た地点	地下道から出て横断歩道を歩く子どもが車から見にくい。	横断歩道表示の強調	・この場所を通学で通る児童は約150名いる。 ・登校時、地下道を抜けたところにすぐ横断歩道があるが、車からは地下道を抜けてきた児童が急に現れるため、児童が横断歩道に急に飛び出してきたときは危ない。 ・横断歩道があることを示すダイヤモンドのほか、手前の電柱には注意喚起の看板も設置されている。また、暗いときには横断歩道を照らす照明も設置されており、ハード面の一定の整備はされている。 ・朝の時間に地域の見守り隊は立っていないが、事故が発生したことはない。 ・学校では児童に対して、渡る前に必ず一時停止して左右を確認してから渡るように、交通指導をしていく。	・交通安全教育(市教育委員会)
7	雄和中学校	秋田東警察署	空港道路側から新水沢橋を渡り終えたところの交差点	横断歩道や信号がないため、かなりのスピードで交差点を通過する車が多い。	横断歩道や信号機の設置	・交差点付近はかなりのスピードで車が通過しており、特に朝の時間は交通量も多い。 ・雄和中学校の生徒で1人だけ自転車通学でこの場所を通る生徒がいる。生徒は車が途切れるタイミングを見計らって、自転車を降りて押して渡っている。 ・横断歩道等の設置については、地元地域からも警察に要望があり、警察ではすでに何度も調査を進めている。 ・信号機の設置は横からの車の交通量はほとんどないことから困難であるが、横断歩道の設置については検討していく。	・横断歩道の設置を検討した結果、登校時間帯も渡る人がほとんどいないことから困難である(秋田東警察署) ・交通安全教育(市教育委員会)